



～ ふるさとを愛し 自ら学び 未来に挑戦する建屋っ子の育成 ～

建小だより

養父市立建屋小学校 学校だより
令和5年1月23日 No.22



書き初め会「一筆入魂 新年の抱負」 1月12日(木)

今年も谷川玄龍先生に指導をお願いし、全校生で書き初めをしました。開会の後、先生が画仙紙いっぱい書いてくださったのは、「飛翔」の文字。力強い筆運びに、会場からは感嘆の声が上がっていました。谷川先生の迫力ある演技に刺激されたのでしょうか、その後の清書タイムはどの学年も全集中……。谷川先生が子ども達一人一人のために書いてくださったお手本を見ながら、1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で、今年の抱負を書きました。

最後の作品紹介では、その文字を選んだ理由や文字に込めた思いを堂々と発表することができました。清書作品や発表から一人一人の思いが伝わってきて、ぐっと感動がこみ上げてきました。漠然とした思いや言葉も、文字にすることで「覚悟」に変わります。念頭にあたり抱いた熱い思いを、今年一年間、強く持ち続けて欲しいと願う一日でした。

子ども達の優しい気持ち、決意や希望が表れた書き初め作品は、玄関フロアに掲示中です。



一人一人に丁寧な声かけ・指導をしてくださいました。



中山さん……一言一句



小谷さん……万里一空



沖田さん……威風堂々

6年生の今年の抱負は

冬休み「お手伝い大作戦」&「Challenge100」



「自分で目標や計画を立ててお手伝いをしたり、規則正しい生活や運動をしたりして欲しい。」ということで始めた2つの挑戦。どちらの取組でも大勢のパーフェクト達成者が出ました。お家の方のコメントで印象に残ったのは、「何かお手伝いがなくて、いつも探し回っていました。」という言葉。また、「Challenge100」の取組では、お正月らしくカルタや百人一首を楽しんだり、家族と会話したりしている様子が伝わってきて、大変嬉しく感じました。

ただ、課題も見えてきました。「つい朝寝坊」はよいとして、やはり「メディアの長時間利用(視聴)」が気になりました。先日、全校朝会で「メディア依存」の怖さや予防について話しましたが、ご家庭でも親子で「家庭の約束・ルール」を考え、実践していただきたいです。

震災から28年目 「1.17防災集会」

11月に火災を想定した避難訓練を行った際は、事前に発生時刻を知らせず、掃除開始直前に「火災発生」の放送を流しました。災害は、いつ、どのような状況の時に発生するのか予測できないからです。突然の放送を聞いて、①低い姿勢で、②「おはしも」を意識して避難する、の2点は実践できていましたが、どうしたらよいかわからずうろろしたり、火災が発生している方向に避難したり、意味もなく自分の教室へ戻ってしまったりする姿が見られました。先生や家族と一緒にの時だけでなく、子ども達だけの時にも「命を守る正しい判断・行動」がとれるよう、様々な状況を想定した避難訓練を繰り返すことが重要であると実感しました。

今回の「1.17集会」では、阪神・淡路大震災当時の避難所の様子、避難生活の中から生まれた「幸せ運べるように」の歌、地域との絆の大切さについて話しました。また、坂本先生の指導のもと、避難訓練に参加して下さった地域の皆さんと一緒に「防災スリッパ」を作りました。この活動を通して、いつ起こるかわからない地震から身を守るためには、懐中電灯や靴を枕元に備えておくなどの「備え」が大切であることを学びました。

「防災ざぶとん」で頭を守って避難



地域の方と一緒に防災について学習



新聞で「防災スリッパ」を作成



4校時は防災給食(4~6年生)。奥山栄養教諭と一緒に、災害への備え(備蓄)について学習しました。



アルファ化米を試食中

3年社会見学

「大庄屋記念館」訪問

1月20日(金)、3年生の児童と一緒に「大庄屋記念館」を訪問しました。案内をして下さったのは、教育委員会の西村真澄さん、岸田明美さん、そして記念館保存のために尽力されている藤原弘幸さんです。昔の暮らし(生活用品や住まいの様子など)や遊びについて学ぶ子ども達の顔は、好奇心で輝いて見えました。



機織り機や
糸巻き機



●○保護者の皆様へ

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見をたくさんいただきましたので、集約・分析の後、改めて報告させていただきます。